

講座名	森に親しむ野外講座 勝浦・鵜原理想郷に初秋の花を探して		
開催日時	2022年9月27日(火) 8時 ~ 4時40分		
開催場所	勝浦市 鵜原理想郷	一般参加者	16名

活動概要

千葉市内を出発後、車内で勝浦市および鵜原理想郷の歴史、海岸植物についての説明を行いました。県立中央博物館分館海の博物館に到着後、一路鵜原理想郷に向かいます。ラセイタソウやガクアジサイ、トベラなどが道すがらに観察できました。そのほか、近年とても増えてきているカミヤツデもいたるところで見られました。

歴史ある鵜原館前を通り、理想郷の中へ入ります。黄昏の丘に至る道中には、ヒメユズリハ、ヤブニッケイ、カクレミノ、タブノキ、オオバイボタなどの海岸林植生が見られます。また、途中でキョンが草を食べており、近寄っても逃げることなく間近に見ることができました。

黄昏の丘での昼食後は、白鳳岬に始まる鵜原理想郷の岬巡りです。オオバグミとマルバアキグミ、葉の丸まったトベラ、ツリガネニンジン、ノコギリソウ、海岸型のコマツナギなどが見られました。ナンテンハギもあちこちで満開でした。ここでは、かつて鵜原石を切り出した石切り場の跡や、イワシ漁のいけす跡なども観察できます。オオミスナギドリも多く見られました。

毛戸岬に足を延ばしたのち、手弱女平（たおやめだいら）に向かいます。手弱女平は鵜原理想郷の中でもリアス式海岸の風景美を最も良く感じられる場所です。不思議な形に浸食された岩場を通り抜けると、見晴らしの良い岬の突端です。ここではハマカンゾウが一輪咲いていました。ハチジョウススキとエノシマススキの違いもよく観察できました。

怪我や熱中症になった方もなく、帰路に着くことができ、澄んだ秋空のもと、太平洋の海原を望む岬巡りの一日となりました。



観察風景



キョンに遭遇



ハマカンゾウ

FIC 講師 チーフ：齊藤 スタッフ：片山、執行、樋口
オブザーバー：植村、坂本、長岡、安武